

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	ソラランド平尾台（北九州市平尾台自然の郷）
	所 在 地	北九州市小倉南区平尾台一丁目1番1号
指定管理者 （自己評価者）	名 称	ハートランド平尾台株式会社
	所 在 地	北九州市小倉南区平尾台一丁目1番1号
指定期間		令和7年4月1日～令和12年3月31日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
フリースペースの充実	☒	○	
キッズスペースの充実	☒	○	
子どものソトアソビ施設の充実	☒	○	
日陰施設の充実	☒	○	
トレイルランニング	☒	○	
ペルセウス座流星群鑑賞会	☐	○	
平尾台お月見会	☐	○	
初日の出会	☐	○	
中学野球部対抗駅伝	☒	○	
クロスカントリー	☒	○	
吹奏楽イベント	☒	○	
SDGs 環境アクティブラーニング	☒	○	
自主事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
園内移動手段の充実	☒	○	
日帰り BBQ 広場	☒	○	
自動販売機設置	☒	○	

野草勉強会	☒	○	
写真教室	☐	○	
江戸流そば打ち体験	☐	○	
陶芸体験	☐	○	
収穫体験	☐	○	
ドッグラン事業	☒	○	
R Vパーク	☒	○	
レストラン	☒	○	
落書きチョーク	☒	○	
早朝・夕暮れドッグラン	☐	○	
新米まつり	☐	○	
ガイドツアー	☐	○	
平尾台アスレ	☐	○	
平尾台ナイトパーク	☐	○	
CAMPINGCAR VACATION®in 九州開催	☐	○	
TOKUI VIDEO CAMP	☐	○	

※応募・申請時の提案書や毎年度の事業計画書等に記載の事業を記入してください。

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント		自己評価
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		
(1) 施設の設置目的の達成		評価レベル (0～5)
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。		4
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。		
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。		
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。		
[評価の理由、要因・原因分析]		
・令和7年度上半期は、子どもに人気の滑り台ミニプールや回転シャワーなど水遊び遊具をせせらぎ周辺に増設するとともに、日陰施設の増設、ミストシャワーの増設などの暑さ対策を講じ入園者数の増加に努めたが、週末や集客イベント時の天候不順や悪天候が響き、入園者数は134,433人、前年度比9,464人減（▲6.6%）となった。具体的には、5月は悪天候の予報により幼稚園等の約2,000人分の予約が相次ぎキャンセ		

ルとなったこと、8月は「ペルセウス座流星群鑑賞会」が悪天候となり参加者約800人（前年約5,600人）と大幅に減少し、10日、11日は大雨による臨時休園、熱中症警戒アラートが19回（前年度26回）発令されたことなどにより前年同月比3,020人減（▲14.0%）となったこと、9月は週末の天候不良が影響し個人利用が大幅に減少し（▲40.2%）、団体利用の増（142.0%増）で盛り返したが前年同月比9,430人減（▲38.9%）となった。

結果として上半期は、想定よりも入園者数、売上高とも伸びなかった。

- ・そこで、上期の減少をいかに下期で取り返すか、ここから前年をいかに上回るかを毎月の定例会議で各課の目標値の達成状況とその原因を全社員で共有し、また当施設の強みは何か、一番伸びしろがある事業は何か利用者のニーズを常に意識しながら今一度自己分析を行い有効的なイベントやサービスの向上に社員全員で取り組んだ。具体的には、ペット連れで盛況な平尾台テラスの客数を伸ばすために、10月の土日4日間夜限定でワンちゃんも一緒に入園できる「平尾台ナイトパーク」でさらに新たな客層を開拓したこと、有名芸能人との共催で行ったキャンプイベントや人気ユーチューバーのキャンピングカーイベントを開催したこと、例年行っていた初日の出会、駅伝大会、野焼き、クロスカントリーなど平尾台ならではのロケーションを活かしたイベント等のブラッシュアップやSNSなどの情報発信に注力し広範囲から入園者を呼び込んだこと、自主事業として事業パートナーに委託しているドッグランとRVパーク、レストランともに売上が増加し好調な集客となったこと、などにより令和7年度の入園者数は243,356人となり、前年度比8,693人増（3.7%増）となった。
- ・福岡県平尾台観察センターとの連携として、ガイドツアー等の連携（ケイビング・カルストガイドツアー等）、雨天時のSDGs環境アクティブラーニング、星空観察会等イベントの共同開催、行政・地元企業・市民と連携するグラウンドワーク事業（野焼き・クリーン大作戦等）を実施している。
- ・営業・広報活動として、プレスリリースやInstagramの責任者を置いて迅速でタイムリーな情報発信に注力した。具体的には、プレスリリースによりマスコミに取上げられた新米まつりは、売上高が増加し前年比約420,000円増（約219%増）となった。Webサイトのアクセス数（4月から翌3月）は約15万件、滞在時間は約1分15秒、Instagramについてはソラランド平尾台、平尾台テラスの共同投稿により、フォロワー数やリール回数増となり効果が現れた。特に4月のリール動画&投稿の閲覧数は約33万回となった。SNSを閲覧した方からレストラン等の団体予約が増加するなど入園者数の増加にも寄与した。
- ・要求水準、目標値には達しなかったが、上期の不調を社員一丸となり創意工夫し昨年を上回る入園者数を獲得した経験を来期に活かしていく。

（単位：人）

【利用者数】	R6年度 (更新前)	R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)	R10年度 (4年目)	R11年度 (5年目)
要求水準	275,000	275,000	275,000	275,000	275,000	275,000
目標値	278,000	275,100	279,200	282,300	284,400	285,500
実績	234,663	243,356	—	—	—	—

※ ・・・評価対象年度

(2) 利用者の満足度							評価レベル (0～5)
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							5
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。							
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。							
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。							
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。							
[評価の理由、要因・原因分析]							
・ アンケートの実施と結果について（総数308件） 芝生の手入れ：非常に満足（55％）、満足（44％）、きれいに手入れされている。 接遇：とても良い（56％）、良い（43％）、案内がわかりやすい、挨拶が丁寧など。 トイレ・清掃状況：とても良い（48％）、良い（50％）、いつ来てもきれいで清潔。 ・ 公園エリアにペットと一緒に入場できるようにしてほしいとの意見があり、下半期に向けて犬同伴入場可能なイベント（ナイトパーク）を開催した。日陰場所が少ないとの意見には、ヴィレッジゾーンに日陰テントを増設した。平尾台アスレの利用料金を安くしてほしいとの要望には、夏休み期間限定で一律300円とした（利用者が増えたため下期も継続実施）。これにより、アスレ利用者の増加だけでなく、周辺エリアの草そりのレンタルや移動手段としてランドカーの利用が増えるなどの相乗効果も生まれた。公園利用者の周遊性も上がり滞在時間も増えるなど利用者の方にお楽しみいただいている。 ・ 苦情の対応は、施設のサービス向上に繋がる貴重な情報として、毎月の定例会議等で社員全員で共有し改善策を議論し実行している。 ・ 利用者への情報提供としては、発信力のある平尾台テラスや山のとらやのアカウントと共同で、愛犬家など従来のファミリー層に加えて情報が伝わるよう工夫した。 さらに、園内4カ所のデジタルサイネージを利用し園内施設の案内はもとよりイベントや体験教室などの最新情報をリアルタイムで来園者へ発信した。 ・ サービスの質の維持・向上としては、草刈りや樹木剪定等に携わるパート社員に専門家による草刈機等の研修を実施し安全第一の作業意識の醸成を図りながら、園内の美化と清掃に努めており、入園者からの評価も高い。 また、キャッシュレス決済システムの導入、インフォメーション及びキャンプ場でのモバイルWi-Fi(有料)のレンタルの実施し、キッズスペースに無料で利用できるフリーWi-Fiを提供するなど、利用者の利便性及び満足度向上に努めた。 なお、授乳やおむつ替えスペースを提供し、「こどもまん“なかま”」として登録している。利用者の安全な来園のため、県道28号線の一部及び市道110号の草刈を実施し、倒木などの交通障害の早期発見、市へ報告に努めている。							
【満足度】	R6年度 (更新前)	R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)	R10年度 (4年目)	R11年度 (5年目)	

目標値	99%	99%	99%	99%	99%	99%
実績	98.6%	99.0%	—	—	—	—
有効回答数	239 人	308 人				

※ ・・・評価対象年度

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

評価レベル
(0～5)

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

5

【評価の理由、要因・原因分析】

- ・管理経費の中で大きなウェイトを占める光熱水費の節約に努めている。「せせらぎ」の水を地元町内が管理する畑灌水の余水を利用する契約により、通年流水できるようにした結果、3,383 千円（R6 年度）から 2,800 千円（R7 年度）となり、大幅な経費節減（583 千円減：▲17%）となった。なお、植物灌水にも利用している。
電気代は、デマンド計の使用によりピーク電力使用量削減と照明・空調の稼働時間を最適化することで節電に努めた。来園者の少ない雨天時は空調や照明の省エネ運転を実施し、スタッフの省エネ意識を醸成することでこまめな温度管理を行っている。
キャンプ場利用者にはゴミの持ち帰りをお願いしゴミ処理費の削減も図っている。
こうした取組みにより、R7 年度支出額の「実績」は「計画」に比べて 26,016 千円減（▲12.3%）、前年度比でも 2,098 千円減（▲1.1%）となった。
- ・清掃、設備の維持、保守点検等の業務委託については、仕様書を見直し、年間を通して計画的かつ確実に当該業務が履行できること、経費が最小限となることを前提に再委託を行っている。
また、委託会社と協議し園内の草刈業務等の発注を見直し社員による内製化に切り替えたことで約 350 万円の削減につなげた。来期は発注会社の見直しを進めて更なる削減を予定している。
- ・閑散期（12 月、1 月、2 月）は、入園者数の動向に合わせたパート社員のシフトを精査し人件費の削減を図った。
- ・毎月の定例会議において、月次の損益計算書の状況を総務課で説明し収入と支出の状況を共有することで指定管理料の効率的な執行を社員に意識づけている。
- ・毎日の園内巡回により、遊具や施設の不具合や老朽化をチェックし適時修繕や改修を社員で行った。パークゴルフや広場の草刈りなど自前で出来ることはノウハウを持った社員で行うことで経費の節減に努めた。

（単位：千円）

【支 出】	R 6 年度 （更新前）	R 7 年度 （1 年目）	R 8 年度 （2 年目）	R 9 年度 （3 年目）	R 10 年度 （4 年目）	R 11 年度 （5 年目）
-------	-----------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	-------------------

事業費	計画	13,768	26,585	25,085	24,085	22,585	21,085
	実績	14,040	19,322	—	—	—	—
人件費	計画	100,888	98,503	101,254	104,007	106,740	108,778
	実績	94,563	95,232	—	—	—	—
施設維持 管理費	計画	30,455	41,970	41,970	41,970	41,970	41,970
	実績	30,442	31,164	—	—	—	—
その他管 理運営費	計画	6,040	7,532	7,532	7,532	7,532	7,532
	実績	6,153	6,503	—	—	—	—
一般管理 費等	計画	25,430	16,651	16,651	16,651	16,651	16,651
	実績	24,299	15,369	—	—	—	—
消費税	計画	17,658	19,124	19,249	19,424	19,547	19,601
	実績	16,950	16,759	—	—	—	—
計	計画	194,239	210,365	211,741	213,669	215,025	215,617
	実績	186,447	184,349	—	—	—	—

(単位：千円)

【うち修繕費】	R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1年目)	R 8年度 (2年目)	R 9年度 (3年目)	R 10年度 (4年目)	R 11年度 (5年目)
計画	—	3,082	3,082	3,082	3,082	3,082
実績	-2,520	3,082	—	—	—	—

※ ・・・評価対象年度

・修繕費については、計画通り執行した。

(2) 収入の増加

評価レベル
(0～5)

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 使用料（利用料金）収入以外に、自主事業による収入や、企業などの外部からの収入（例：協賛金など）を獲得できているか。
- ③ 自主事業による収益を活用した施設の魅力向上などの投資や、サービス向上などの指定管理業務や市への収益還元の取組みがなされたか。

4

【評価の理由、要因・原因分析】

- ・重要な集客期間である GW に特別イベント（ラッキーヴィッキーショー、スプリングコンサート、神楽太鼓等）を実施し約 3,600 人を集客した。
- ・7 月、8 月は暑さが厳しい日中を避けて、早朝（5 時から）夕暮れ（21 時まで）ドッグランを実施し利用者増（6 月比犬 2.4 倍、人 2.3 倍）を図った。
- ・地元団体と協同し平尾台ならではの食のイベント「新米まつり」を実施し地元農家の新米を目当てにした広域からの集客を図ったことで、売上高は約 77 万円（前年比約 42

万円増：約 219%増)となった。

- ・GW に次ぐ集客期間 10 月の土日 4 日間夜限定でペット（犬）も一緒に入園できる「平尾台ナイトパーク」で新たな客層を開拓し、ペット（犬）用の地鶏の炭火焼きは人気を集め、期間中の売上は約 90 万円となった。
- ・繁忙期にしか利用しない遊休地である臨時駐車場を活用して、キャンピングカーイベントを開催し参加費を徴収し収入増（約 90 万円）に努めた。
- ・一般財団法人北九州市教職員互助会及び東京葉業健康保険組合の福利厚生事業として、ソラランドで使えるクーポンを発行し知名度向上と利用促進を図った。
- ・自主事業の収入を増やすため多彩な事業を実施した（トウクトウクガイドツアー、鍾乳洞ケイビングツアー、バッテリーカー、ランドカー、キタポッポの運行、平尾台アスレの値引による利用促進など）。その結果、自主事業の収入は、前年度比 1,464 千円増となった
- ・自主事業による収益を、安全安心の確保を最優先とした施設の修理、修繕等に積極的に投資した。これにより、利用者が安心して過ごせる安全性の高い施設環境の維持と向上を図った。

(単位：千円)

【収 入】		R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1 年目)	R 8年度 (2 年目)	R 9年度 (3 年目)	R 10年度 (4 年目)	R 11年度 (5 年目)
利用料金 収入	計画	25,506	24,506	24,506	24,506	24,506	24,506
	実績	17,798	16,833	—	—	—	—
指定管理 料収入	計画	163,839	182,845	182,845	182,845	182,845	182,845
	実績	163,839	182,845	—	—	—	—
自主事業 収益還元	計画	4,894	3,014	4,390	6,318	7,674	8,266
	実績	0	166	—	—	—	—
計	計画	194,239	210,365	211,741	213,669	215,025	215,617
	実績	181,637	199,844	—	—	—	—

(単位：千円)

〈自主事業収入〉 【収 入】		R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1 年目)	R 8年度 (2 年目)	R 9年度 (3 年目)	R 10年度 (4 年目)	R 11年度 (5 年目)
自主事業 収入	計画	44,697	42,866	43,666	44,666	45,666	46,766
	実績	31,580	33,044	—	—	—	—

<指定管理業務への収益還元の状況>

(単位：千円)

【実績】	R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1 年目)	R 8年度 (2 年目)	R 9年度 (3 年目)	R 10年度 (4 年目)	R 11年度 (5 年目)
利益額	▲9,442	166				
還元額	0	166	—	—	—	—

還元率	0%	100%	—	—	—	—
※ ・・・評価対象年度						
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み						
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況						評価レベル (0～5)
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。						5
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。						
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
・当社は、正社員 13 名、嘱託員 4 名、パート 19 名の計 36 名の社員を有している（令和 8 年 3 月 31 日現在）。運営課、施設管理課、営業課に最適な人員を配置し指定管理業務にあたっている。またジョブローテーションによる人材育成、経験と実績に応じた人事管理により組織の継続性を保ち安定した経営に努めている。 ・社員の能力向上に寄与する講習会等への参加を推奨し、各種資格の取得を助成することで、指定管理業務の更なるレベルアップを図っている。 ・令和 7 年度の新規として、酒類販売管理研修の受講、公園管理運営士と応急手当普及員の資格を取得した。 ※講習会等 普通救命講習、救急救命講習（AED）、人権研修、刈払機作業安全衛生教育、乗用草刈機安全講習、食品衛生責任者講習、防火管理者講習、安全運転責任者講習等 ※資格 公園管理運営士、普通救命、上級救命、応急手当普及員、刈払機取扱作業安全衛生教育、防火管理者、安全運転管理者、食品衛生責任者、自然観察指導員等 ・社員の管理コスト意識を醸成するため、毎月の定例会議において、月次の損益計算書の状況を総務課で説明し収入と支出の状況を共有することで指定管理料の効率的な執行を意識づけている【再掲】。 ・パート社員についても、個人面談を通して会社の方針を説明し、社員全員指定管理者の自覚をもって業務にあたることを意識づけている。 ・地域や地元団体等との連携や協働については、東谷地区連絡調整会議の主催（月 1 回）、グラウンドワーク事業「平尾台野焼き」の参加、ネイチャーポジティブセンターの参加、東谷地区含む周辺地域との地域振興を図る「三谷地域振興協議会」の参加など、北九州市や地元が進める事業に積極的に参画している。 ※主な地域活動 東谷地区連絡調整会議（事務局）、平尾台野焼き（実行委員）、平尾台観光まつり（実行委員）、東谷フェスティバル（実行委員）、平尾台新米まつりの共催、地元農業祭の協力、地元東谷地区の小学校環境学習、地元地区区民体育祭（協賛）、平尾台クロスカントリー（実行委員）、平尾台トレイルランニングレース（実行委員）、SSA パラグライダースクール（イベント）、平尾台蕎麦クラブ（ボランティア・イベ						

ント) 等	
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	評価レベル (0～5)
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。 ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。 ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。 ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。 ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。 ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	5
[評価の理由、要因・原因分析] ・個人情報保護法に沿って定めた個人情報保護規定を遵守し、利用者、イベント参加者、各種講師、ボランティア登録者等の個人情報の保護に留意し、以下のとおり個人情報の保護に努めた。 ・知り得た情報を第三者に提供しない。 ・利用目的以外に個人情報を利用・提供しない。 ・業務上知り得た情報やその内容を第三者に漏洩しない。また、不要な個人情報は、速やかにシュレッダーにて廃棄するなど。 ・平等かつ公平・公正な取扱いによる安全で快適な管理運営を行い、正当な理由のない限り利用を拒まず、特定の個人・団体の利用を優先することのないようにする事を徹底し、子どもから高齢者まで利用できるよう管理運営をおこなった。 ・子どもから高齢者、外国人など、多様な人々が利用するため、園内や窓口での案内や苦情、要望等の対応などあらゆる場面において、公正な判断や対応が求められる。相手の尊厳を尊重し親切丁寧な対応を行い、利用者の価値観も千差万別であり、中には不適切な要望等もあるが、そのような利用者に対しても理解を求め、特定の利用者の意見に偏らないよう配慮した。 ・当施設の会計処理については、指定管理業務に係る収入と自主事業収入を明確に区分している。また、双方の収入が混在することはなく、会計上も別勘定で管理している。収入の発生源ごとに伝票・帳票を分け、会計システム上で仕訳を区分している。なお、毎月専任の税理士が来所し、経理の処理に誤りがないか帳簿等のチェックを受けるとともに、専門家の見地から助言を受けることで会社法に則った適切な経理事務を行っている。 ・安全対策については、定期点検として、駐車場精算機機器点検、空調機点検、遊具点検、AED 点検、消防点検など適切に実施している。建築基準法に基づく建築物点検、建築設備点検についても市の指導により実施している。 老朽化による施設、設備の改修、修繕等についても適時実施している。	

日常において園内の巡視・建物の設備点検を励行し、随時必要な修理及び補修を社員で行った。また、バリアフリーの視点で障害を排除し危険排除に努めた。暴風雨等による倒木や土砂崩落に際し、安全確保のため迅速な復旧対策を実施した。

- ・防犯については、開園時は駐車場、ゲート、園内巡視で防犯チェックを実施、閉園時は機械警備と夜間の巡視（委託）、その他ロープ等を使い、蜷集場所を除去し、センサーライト、Web カメラを設置し対応している。園内・駐車場には防犯カメラを設置している。小倉南警察署及び地元駐在所と連携を図り、防犯情報の収集や情報提供に努めている。
 - ・防災については、気象情報サイトを利用し早期防災・予測に努めている。
防災基準を策定し、臨時休園やアーリークローズ等の素早い対応を行っている。
小倉南消防署や航空隊と連携を図り、平尾台周辺の情報提供に努めている。
また、緊急時のスムーズな対応のため、緊急時のヘリポート乗降場所や誘導手順を消防航空隊等と確認している。
災害時等に使用できるレスキューボードベンチ（担架ベンチ）1台を救護室に設置している。担架2台を設置している（管理棟救護室、キャンプ場管理棟）。
非常時に迅速に行動できるよう社内の緊急連絡体制を整え、消火器やAEDを使用することになっている。
 - ・野生動物対策として、夜間園内に侵入する動物（イノシシ、キツネ、アナグマ、コウモリ等）を撃退し被害の都度補修を実施している。アナグマ進入対策としてワイヤーメッシュをフェンス下に取り付けて進入防止対策を行っている。
なお、夜間、自動芝刈り機が稼働する際、ライトが点灯し動くため、野生動物進入の抑止になっている。
 - ・平尾台は高原に位置しており、大雨や強風の影響を非常に受けやすい地域であり、利用者の安全を確保するため気象情報を収集し適切な対処を行っている。
気象情報やインターネットによる近隣地域の情報収集により、台風・豪雨などによる臨時休園、アーリークローズ等の早期対応に努めている。
 - ・アクセス道支障箇所を早期発見し通報することにより利用者の安全確保に努めている。
 - ・防災対応基準を策定し、大雨、台風、大雪等での対応を事前に決めて、入園者、社員の安全確保に努めている。
 - ・アクセス道凍結の際に、散布機による融雪剤散布を実施しアクセス道の早期復旧に努めている。
 - ・全社員を対象に消火器の噴射体験等の消火訓練を実施している。
 - ・事故発生時や非常災害時の対応として、各種対応マニュアルを策定し、十分な体制を整えている。緊急時には迅速に対応できるよう、連絡網・報告ルートを整備し、実効性を確保している。マニュアルに基づき、責任者、担当者を明確に配置し、指揮系統を整備している。
- 特に、園内の草刈業務については、令和6年7月の事故を踏まえて、除草業務安全マニュアルを策定し社員への周知と専門家による刈払機安全衛生教育を実施し再発防止を図っている。なお、全てのマニュアルは策定後も放置することなく、現場からのフ

ードバックや社会情勢の変化を反映させることで、常に有効で信頼できる内容を保ち定期的に見直しを行っている。

【総合評価】

〔全体的な評価・今後の対応等〕

- ・令和 7 年度は、サービス業等民間ビジネスのノウハウを持つ新社長のもと、指定管理期間の初年度として社員一同気持ちを新たに「平尾台自然の郷」の管理運営に取り組んできた。
- ・「有効性」の視点では、平尾台の持つ魅力とその可能性を発信すること、平尾台の清らかな環境を維持し入園者の満足度向上を図ること、平尾台のロケーションを活かしたイベントの誘致や集客につながる自主事業などを実施してきた。
- ・「効率性」の視点では、毎月の定例会議で現時点の収支状況を説明し、社員全員がコスト意識を持ち費用対効果を検証しながら経費を執行する仕組みを作った。
また、従来外注していた草刈りと樹木剪定等の一部を社員で内製化するとともに、施設や設備の不具合や老朽化などはなるべく自前で改修し管理経費を抑え予算を必要な経費に充ててきた。
- ・「適正性」の視点では、資格や能力に応じた人員配置と管理コスト（人件費等）の最適化を図るとともに、契約期間が満了した社員の入替など組織の活性化に努め、会社の継続性を保ちながら安定した施設の管理運営を行ってきた。
なお、最重要、最優先の視点は、入園者が安全安心に楽しめる施設の維持と事故、災害時の危機管理対応であり、このことは社員全員の使命としている。
- ・以上により、令和 7 年度の総括としては、入園者数は要求水準と目標値とも到達しなかったが、やるべきことを正しくやれば結果（入園者数）は確実に出ることを社員全員で共有するとともに、指定管理者として高いレベルの管理運営が出来たと認識している。
一方、令和 7 年度は、遊具の新設等ハード面の投資を抑え、ペット連れも楽しめる「平尾台ナイトパーク」等新たなイベントの実施やアスレの割引などで利用者の周遊性を高め既存の設備の有効性を高めるなど効率的な施設管理の検証を進め、入園者の満足度を上げ、サービス向上のための環境を整えてきた。
- ・令和 8 年度は、公園の枠組みだけでなく観光地としても確立し新たな客層となる車で旅をする広域からの観光客の呼び込みに力を入れたい。また、ペット入園エリアを広げて近隣のペット連れの方の憩いの場として、ペット連れの車で旅をする人たちの立ち寄り場所として確立したい。公園内で人とペットが共存できるようにしっかり運営し、ペットの啓発イベントの開催などマナー向上にも努めていく。
さらに、投資コストに見合った園内遊具の新設や改善による利用者サービスの向上なども積極的に行い、入園者の増加とともに自主事業の収入を増やしその利益を指定管理業務に充当するなど、持続的で安定した施設管理を目指していく。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった
4	↑	要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2	↓	要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった

※この様式は外部にも公表する資料となります。